



くさばな しんぶん

2021年12月号

令和3年

12月1日発行

通算第306号

親子で運動遊び

今月の運動遊び

ておしぐるま

運動方法：一人(A)は腕立て伏せの姿勢。もう一人(B)は(A)の両足をもって歩く。
運動の分類：移動系、操作系 運動の効果：(A)腕支力、筋持久力 (B)全身の筋力、協応性



3 (A)のペースに合わせてゆっくり前進する。

2 (B):(A)の両足を下からすくうようにしっかり持つ。

1 (A):(A)の両手を地面について身体を支える。

★(B)が(A)の膝あたりを持つと、(A)の腕にかかる負荷を軽くすることができます。★



《満足に行きました》
11月5日に満足に行きました。新型コロナウイルス感染症が流行してからというもの、園外での保育がまともに行われずにいました。また、昨年、天候にも見放されてしまい、計画はしたものの雨天で中止となってしまいましたので、今回こそは！といった気持ちでいました。
当日は、いいお天気に恵まれ絶好の満足日和となりました。大型バス(路線バス)に初めて乗るお子さまも多く、「大きいね!」「動いた!」との声が聞こえてきました。片道30分弱の乗車でしたが、それだけでも楽しかったようです。動物園では、普段見ることのない動物を間近にし、少々怖がるお子さまもいましたが、大部分のお子さまが「どこにいる?」「いたー!」と声をあげ、興味を持って見学していました。キリンをバックに写真撮影をしたり、猿のコーナーでは柵にしがみつきたがら猿の様子を見学したりしながら、その時々気づいたことや、感じたことなどを友だちや先生たちと伝えあい、楽しさを共有していました。もり組とやま組は、モルモットに触れる体験もしました。ほんの少しの時間ですがモルモットに触れることができ、「かわいいね」「あったかいね」「フワフワだね」など色々な感想が聞かれ、良い経験となりました。昼食は、感染予防のため園に戻ってきてから園庭で食べました。お弁当の様子を見にいくと「先生、見て!」とおいしそうなお弁当を自慢気に見せてくれたお子さまたちでした。

例年とは形を変えての満足となりましたが、充実した1日をご過ごすことができました。保護者の皆さまには、早朝からお弁当のご用意や送迎等、ありがとうございました。

《誕生会をライブ配信で視聴しました》

私自身の都合により誕生会に参加できなかったため、11月の誕生会をライブ配信にて視聴しました。誕生児のお子さまが一生懸命にインタビューに答える姿や、クラスの出し物に喜んで参加する姿が画面越しに伝わってきて、気づくと私も一緒に拍手をしたり、お子さまたちに手を振っていました。保護者の方もきっとこんな風にしながら視聴しているのだろうな・・・と思い、良い経験ができました。

ライブ配信を始めた時には、画面の向こう側でお家の人に見られることを、お子さまたちはどう感じるのだろうか?と少し心配もありました。しかし、日ごろからビデオ通話でいろいろな人と電話をしたり、日常の中で写真やビデオ撮影が当たり前になっていたりするお子さまたち。全く違和感を感じることなく誕生会に参加しているようですね。さすが、今どきのお子さまたち。ハイバイ!と余裕の笑顔で手を振るお子さまたちの姿を見て、私の取り越し苦労だったのだと感じました。

1日でも早くこの状況が改善し、保護者の皆さまにも来園いただき、一緒に誕生児のお祝いができるようになればよいのですが、いずれは来ると言われている第6波に備え、もう少しだけ誕生会のライブ配信を続けていきたいと考えています。画面越しではお子さまの姿が見えづかったり、画面が揺れたりのご不便をお掛けしますが、引き続きよろしくお願いたします。

園長 影山 幸江



《七五三でお話したこと》

11月15日、恒例の七五三のお祝いを本堂で行いました。園のブログにも載せていますから、ご覧いただいていると思います。太鼓入りで読経するにぎやかなお祝いでした。ところで年長さんにはこんなお話をしました。

「みなさんは忘れていらっしゃるけれど、みなさんが病気をしたとき、おうちの人はとても心配して夜も眠らないで看病してくれたのですよ。きょう帰ったら、おうちの人が、元気に育ててくれてありがとう、と言うんだよ」と。わが子が病気になる時は親は切ない思いをするものです。健康で元気に過ごしてくれるのが一番ですね。そうした親の思いを一身に受けて、代わる代わるの過去ずっと親は子どもを育ててきたということです。

《大行寺のこと・このあたりの地名のこと》

9月30日、草花小学校の5年生のみなさん20名ほどが大行寺に見学に来ました。この日、いろいろなコースに分かれての見学だったようで、そのうちの1グループが来ました。卒園生もいました。

事前に生徒さんたちから質問をいただいていたので、当日はその質問に答えるかたちで、このお寺の歴史をお話しました。しかしなせ30分ほどの短い時間だったので、私は不完全燃焼の気分でした。なので、ここでは当日の会話のほかに話したかったことなど、少しご紹介します。

その1: いつ頃からここにこのお寺があるのかというと、残された記録による限り、出来たのは西暦1207年とされています。今から814年前ということになります。草花の土地には、すでに鎌倉時代に人が住んでいた形跡があります。寺の北側の段丘の上には昔は麦畑が広がっており、子どものころ、畑の中を泥んこになりながら遊び回り、土器の破片や黒曜石のかけらを拾い集めたものでした。ですから、もともと大変古い土地柄なのです。

お寺を造ったのは、平山季重(すえしげ)という武士です。この平山氏の根拠は今の日野市であったようです。この季重は、日本の古典の中でも特に有名な『平家物語』の中の「一の谷の合戦」などに登場します。

その2: 「草花」という土地の名前はとても古く、江戸時代にはすでにあったことが確認できます。また、「多西(たさい)」という地名も古くからあります。また「多西」という地名も今は、多西小学校、JA多西支店、多西橋などとして残っていますが、もともとは多摩川の広い西部一帯をさす地名でした。私が子どものころは、西多摩郡「多西村」でした。多西村+東秋留村+西秋留村→秋多(あきた)町となり、秋多町が秋川市となり、さらに秋川市+五日市町→あきる野市となった次第です。

理事長 山城 清邦

保護者会だより



光遊び

自分の描いた絵を壁に映してみよう

準備はとっても簡単!!

作り方

- ① 紙コップの底を切り抜く。キリで真ん中に穴を開けるとハサミをいれやすいです。
- ② ラップに油性ペンで好きな絵を描く。
- ③ 紙コップの口にラップをかぶせ輪ゴムでとめる。ラップをかけてから絵を描いてもOK!!



用意するもの



- ・紙コップ
- ・ラップ
- ・輪ゴム
- ・油性ペン
- ・ハサミやキリ
- ・スマホまたは懐中電灯

遊び方

部屋を暗くしてコップの底から光を当てると壁に絵が浮かびあがります。スマホや懐中電灯いろいろな光で試してみるのもおすすめです!! 天井に大きく映したり、高速で動かした絵を追いかけたりタッチしても楽しいです。

